

日本気象学会 1995年度春季大会

会期：1995年5月15日（月），16日（火），17日（水）

会場：気象庁（〒100 東京都千代田区大手町1-3-4）

電話（03）3212-8341

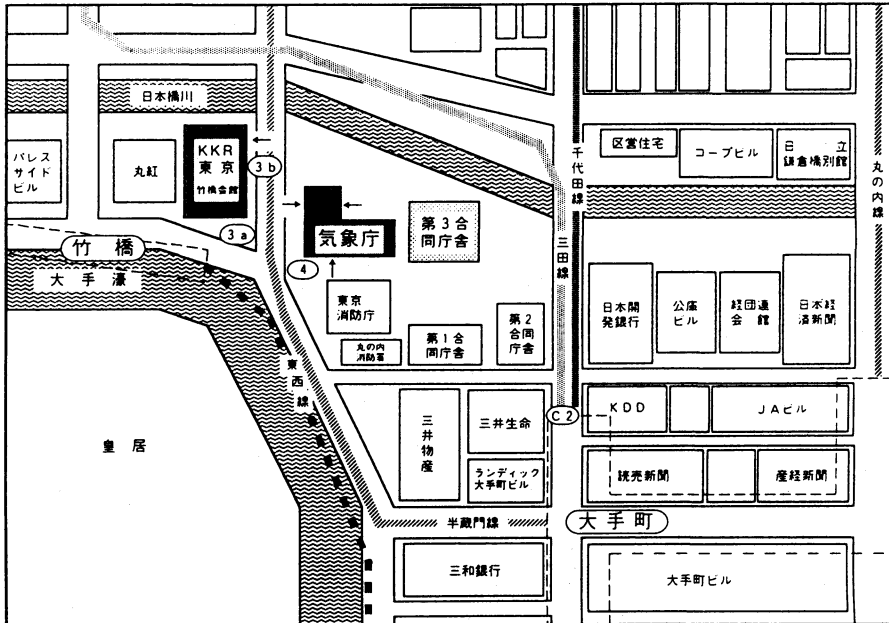
KKR 東京（〒100 東京都千代田区大手町1-4-1）

電話（03）3287-2921

目次

会場案内	189
大会行事予定表	190
総会次第	191
シンポジウム内容	191
研究発表題目	192～201

会場案内図



総 会

日時 大会第2日(5月16日) 15:00~
会場 A会場(気象庁講堂)

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 学会賞授与
5. 藤原賞授与
6. 1994年度事業経過報告
7. 1994年度会計決算報告
8. 1994年度監査報告
9. 理事の辞任に伴う追加選任について
10. 名誉会員の推薦について
11. 1995年度事業計画案審議
12. 1995年度予算案審議
13. 議長解任
14. 閉会の辞

引き続き学会賞および藤原賞受賞記念講演を行う。

シンポジウム 1994年の日本の夏

日時 大会第2日(5月16日) 13:00~14:50

会場 A会場(気象庁講堂)

座長 新田 勲(東大・気候システム)

話題提供

- 磯部英彦(気象庁・長期予報): 1993年と1994年の世界の天候の比較
安成哲三(筑波大・地球): 1994年夏のアジアモンスーン、ユーラシアの積雪および熱帯の海水温
小出 孝(気研・気候): 気候力学の立場から見た1994年夏の大気大循環のいくつかの様相
吉川都夫(気象庁・数値予報): 数値予報モデルを用いた1993、94年夏のシミュレーション
最後に総会討論を行う。

研究会のお知らせ

大会に合わせて下記の研究会が行われます。興味のある方はご自由にご参加下さい。

1. 極域研究連絡会

日時: 5月15日(月) 18:00~19:30

場所: 気象庁内の予定(詳細は当日掲示)

内容: 本年の秋季大会に合わせて北極域の大気と氷のシンポジウムを開催したいと考えております。このためのテーマ、準備などについて打合せをしたいと思えます。またその他極域研究の現況・将来計画などを紹介致します。

世話人: 和田 誠(極地研)

2. 第7回メソ気象研究会

日時: 5月14日(日) 14:00~17:30

場所: 東京大学海洋研究所講堂

テーマ: 「つくば域降雨観測実験」

コンピーナー: 坪木和久(東大・海洋研)

プログラムは「天気」3月号に掲載。

3. 第7回IGBP/GAIRM研究会

日時: 5月17日(水) 午後

場所: 東京管区気象台会議室(気象庁8階)

世話人: 及川武久(筑波大・生物科学), 木田秀次(京大・理)

招待講演:

1. 末田達彦(名大・農): 大気CO₂倍増時の地球温暖化に伴う全球植生変化の予測
2. 増田耕一(都立大・理): 世界の植生分布を規定する気候要因に関するレビュー

上記の他に一般講演も行う予定。

(詳細は「天気」4月号と大会会場掲示参照)

★ 秋季大会の予告は次のページにあります。



東大気候システムセンター(CCSR)特別講演会 松野センター長退官記念 「気象力学の過去・現在・未来」

日時 5月18日(木) 09:30~17:30

場所 東大安田講堂

プログラム

- A. Kasahara (NCAR): 赤道波ノーマルモードと数値予報
K. Miyakoda (GFDL): El Nino and monsoon forecast
A. Arakawa (UCLA): The past, present and future of numerical modeling of the atmosphere: a personal view

上記のほか、次のワークショップが開かれます。

日時 5月19日(金) 10:00~16:00

場所 東大先端研講堂

プログラム

- 新田 勲(CCSR): 大気・海洋の数十年スケールの変動の解明
佐藤信夫(気象庁): 大気・海洋・陸面のデータ同化システムの発展

M. Yanai (UCLA): The past, present and future of tropical meteorology

山崎正紀(東大・理): CISKと雲システムに関する研究

廣田 勇(京大・理): 成層圏突然昇温研究の歴史と展望

S. Manabe (GFDL): The role of ocean in climate

松野太郎(北大・地球環境): 未定

時岡達志(気象庁): MRI結合モデル実験拾遺

宮原三郎(九大・理): 中層大気力学: 中性大気から電離大気へ

その他、山形俊男, 高橋正明, 山中康裕の各氏などを予定。

連絡先(発表希望等): 住 明正(東大・気候システム)

大会第1日〔5月15日〕 09:30~12:30

(は第2種講演を, は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

大陸スケールのエネルギー・水循環と陸面過程 I

座長: 安成哲三 (筑波大・地球)

- A101 甲斐憲次 (筑波大・地球), 富田知宏 (筑波大・自然), 武井弘樹 (筑波大・環境): ポータブル乱流フラックス測定システムの開発と応用
- A102 三枝信子・及川武久 (筑波大・生物), 渡辺 力 (森林総研): 草原-大気間のCO₂・H₂O交換過程のモデルと観測
- A103 城岡竜一 (北海道農試): 消雪前後での乱流フラックスの変化
- A104 小林哲夫・賀 文君 (九大・農): 裸地面蒸発の合理的パラメタリゼーション
- A105 近藤純正・徐 健青 (東北大・理), 福本昌人 (北海道農試): 裸地面蒸発と土壌水分の長期検証
- A106 広田知良 (北海道農試): 森林・草地・畑地における土壌水分の年変化の観測
- A107 大畑哲夫 (名大・水圏研), CREQ研究グループ: チベット高原中央部の陸域水循環の季節変化の特性について
- A108 矢吹裕伯・大畑哲夫 (名大・水圏研): チベット高原タングラ山域での蒸発量と土壌水分量の関係について
- A109 荻野谷成徳 (気研・物理), Li G., 鞆 遠発 (成都気象学院): チベットにおける自動気象観測(3)
- A110 上野健一 (筑波大・地球), 大畑哲夫 (名大・水圏研), 大野智生 (気象衛星センター), 小池俊雄 (長岡技術科学大), 太田岳史 (岩手大): チベット高原における降水と対流活動
- A111 玉川一郎 (名大・水圏研), 光田 寧 (京大・防災研): HEIFE砂漠での熱収支・水収支
- A112 谷田貝亜紀代・安成哲三 (筑波大・地球): タクラマカン砂漠への夏季の水蒸気輸送と降水について
- A113 加藤内蔵進 (名大・水圏研), 斯 公望 (杭州大): 1991年7月の淮河流域大洪水に関連した大陸上の梅雨前線の特徴について
- A114 松山 洋・増田耕一 (都立大・理): 中央アジアにおける土壌水分量の季節変化・経年変化
- A115 小池俊雄・玉川勝徳 (長岡技術科学大), 柴田 彰 (気研・海洋): マイクロ波放射計によるユーラシア大陸の地表面水文状態の把握手法について

B会場

大気力学 I

座長: 謝 尚平 (北大・地球環境)

- B101 阿部成雄 (防大・地球): 順圧渦の移動 — 初期値問題 —
- B102 荒井正純・山形俊男 (東大・理): 回転浅水における渦の非対称発展
- B103 野沢 徹・余田成男 (京大・理): 回転球面上の強制2次元乱流における波数空間内のエネルギー分布
- B104 加藤輝之 (気研・予報): Zonal Windのある三次元大気の熱帯加熱(渦度強制)に対する線形応答
- B105 直江真明 (大阪管区), 松田佳久 (東大・理): 東西非一様な基本場におけるロスビー波の伝播(2)
- B106 伊藤久徳 (和歌山大・教育), 木本昌秀 (東大・気候システム): 現実的な地形を持つ準地衡風モデルにおける傾圧波とRossby波列
- B107 二階堂義信 (気研・気候): 夏半球の亜熱帯高気圧研究(その6) — 亜熱帯高気圧モードと傾圧不安定モード間の気候レジーム遷移 —
- B108 佐藤正樹 (埼玉工大): ハドレー循環と傾圧波動の相互作用について
- B109 謝 尚平 (北大・地球環境): なぜ東部太平洋の熱帯収束帯が北半球にあるか
- B110 山本 勝・田中 浩 (名大・水圏研): 金星四日循環とY字型雲模様形成・維持機構について
- B111 石渡正樹 (東大・理), 中島健介 (東大・気候システム), 林祥介 (北大・地球環境): 暴走温室状態にも適用可能な3次元モデル開発
- B112 鈴木真一・木村龍治 (東大・海洋研): 台風の風応力に対する海洋の応答

秋季大会の予告

1995年度秋季大会は10月18日(水)~20日(金)にホテル・アウリーナ大阪(大阪市天王寺区)で開催されます。講演企画委員会ではスペシャル・セッションの企画を募集しています。(「天気」2月号参照)。大会告示は「天気」5月号に掲載します。講演申込締切は8月下旬の予定です。

大会第1日〔5月15日〕 09:30~12:30

()は第2種講演を, ~は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

D会場

雲物理

座長:村上正隆(気研・物理)

- C101 高橋 司¹・竹内真由美(埼玉大・教育): -5°C 以上で自由落下中に成長した氷晶の形態の観察[S]
- C102 高橋 勲(九大・理), 園井康夫(関西電力), 中森健一・鈴木賢士・田尻拓也・須古井貴文・宮脇久仁子(九大・理):北陸冬季雷雲内の降雪粒子電荷, 映像の同時観測—ビデオゾンデPPIS
- C103 乙津孝之¹・上田 博・遊馬芳雄・菊地勝弘(北大・理), 河崎善一郎(大阪大・工), 園井康夫(関西電力):若狭湾周辺に冬季雷をもたらす雪雲の観測—1995年1月6日の事例について—
- C104 紫村孝嗣¹・小林文明¹・内藤玄一¹・都築信明¹・道本光一郎(防大・地球), 酒井 勉(北陸電力):冬型気圧配置時における発雷頻度の違いについて
- C105 折笠成宏¹・村上正隆¹・水野 量¹・山田芳則(気研・物理), 寺川 陽ほか(土木研), 田中長光ほか(利根川ダム統合管理事務所):HYVISによる十日町市周辺における降雪雲観測—1994年12月21日の事例—
- C106 水野 量¹・村上正隆¹・山田芳則¹・折笠成宏(気研・物理), 寺川 陽ほか(土木研), 田中長光ほか(利根川ダム統合管理事務所), 梶川正弘(秋田大), 池田明弘(新日本気象海洋):マイクロ波放射計による三国山脈周辺における雲水量の観測
- C107 村上正隆¹・折笠成宏¹・水野 量¹・山田芳則¹・真野裕三¹・塩原匡貴(気研):シーディング実験—雲頂温度が -17°C の降雪雲—
- C108 遊馬芳雄¹・菊地勝弘(北大・理), 武田喬男¹・中村健治(名大・水圏研):航空機観測による層状「氷雲」の内部構造
- C109 田尻拓也¹・鈴木賢士¹・田中 猛¹・串山 傳¹・川野哲也¹・高橋 勲(九大・理):アジア・モンスーン雨の研究:降雨機構—ビデオゾンデ観測
- C110 川野哲也¹・串山 傳¹・田中 猛¹・田尻拓也¹・鈴木賢士¹・高橋 勲(九大・理):アジア・モンスーン雨の研究:降雨システム—ビデオゾンデとドップラーレーダーによる同時観測—
- C111 岩崎博之¹(群馬大・教育), 荒生公雄(長崎大・教育), 青梨和正¹・柴田 彰(気研), 武田喬男¹・藤吉康志(名大・水圏研), 真木雅之(防災科研):レーダとSSM/Iデータを用いた梅雨期の低気圧に伴う雲域の構造に関する研究
- C112 小原慶子¹(神戸大・理), 山中大学¹・橋口浩之(京大・超高層), 柴垣佳明(大阪電通大), 深尾昌一郎(京大・超高層):境界層レーダーによるgenerating cellの観測
- C113 佐々木 聰¹・播磨屋敏生(北大・理):立坑を用いた雲物理実験装置内で発生した雲の微物理過程(その3)—雲粒成長の数値シミュレーション—
- C114 阿部博文¹・遠峰菊郎(防大・地球):混合層モデルによる下層雲の持続性に関する数値実験
- C115 高谷美正(気象庁・図書):対流雲の表面における風のシアの推定

大気化学

座長:城尾泰彦(気象庁・測候)

- D101 塚田 希¹・田中 浩(名大・水圏研):都市域におけるDMSの濃度変化(2)
- D102 米村正一郎¹・宮田 明¹・矢島正晴¹・鶴田治雄(農環技研):農環研露場(草地)における地上付近の一酸化炭素濃度の高度分布
- D103 岸 幹郎¹・村松久史(京大・防災研):都市からのメタンの発生—その3
- D104 村松久史¹・岸 幹郎¹(京大・防災研):都市からのメタンの発生—その4—自動車からのメタンの発生率—
- D105 鶴田治雄¹・八木一行(農環技研), 神田健一(九州農試), 加藤邦彦¹・陽 捷行(国際農研セツター), P. Chairaj, W. Cholitkul(DOA):タイの水田におけるメタンフラックスの測定(1)
- D106 遠嶋康徳¹, S. Maksyutov, 町田敏暢¹・井上 元(国立環境研):西シベリアにおけるメタンの発生源上空でのメタン濃度の航空機観測
- D107 町田敏暢¹・井上 元(国立環境研), N. Vinnichenko(CAO):シベリア上空の大気中二酸化炭素濃度の航空機観測
- D108 中澤高¹・白川泰樹(東北大・理), 井上 元¹・町田敏暢(国立環境研), V. Nikolaev, N. Vinnichenko(CAO), 田中正之(東北大・理):シベリア上空における CO_2 濃度の分布と変動
- D109 S. Maksyutov(国立環境研):UPPER TROPOSPHERIC CONCENTRATION DISTRIBUTIONS SIMULATED BY GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL BASED ON OBSERVED WINDS
- D110 中澤高¹(東北大・理), K. Higuchi(AES), 佐伯田鶴¹・田中正之(東北大・理):二次元大気輸送モデルを用いたメタン放出量の推定
- D111 城尾泰彦¹・宮本仁美¹・林 洋一¹・長井秀樹¹・石井一雄¹・村上誠一(気象庁・測候):綾里における大気中二酸化炭素濃度の年々変動—季節変動・年々変動—
- D112 山本 晋¹・村山昌平¹・近藤裕昭(資源環境研):温帯落葉樹林と大気間の CO_2 フラックス季節変化の観測(その1)
- D113 中澤高¹・遠井充子¹・石澤みさ¹・田中正之(東北大・理), 森本真司¹・青木周司(極地研):日本上空における大気中二酸化炭素の酸素同位体比の観測
- D114 中澤高¹・石澤みさ¹・田中正之(東北大・理):大気中二酸化炭素の酸素同位体比の季節変動の解釈
- D115 中澤高¹・渡井智則¹・田中正之(東北大・理):福島県沖の太平洋における表層海水中の二酸化炭素の変動

大会第1日〔5月15日〕 13:30~15:30

()は第2種講演を, ~は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

B会場

大陸スケールのエネルギー・水循環と陸面過程II

座長:安成哲三(筑波大・地球)

- A151 宮崎 真(筑波大・環境), 安成哲三(筑波大・地球), T. Adyasuren (モンゴル自然環境省): モンゴルにおける地上気象要素の季節変化の特性
- A152 安成哲三(筑波大・地球), 常盤勝美(筑波大・自然), 宮崎 真・篠原和晶(筑波大・環境): ユーラシア大陸における(秋から冬への)季節ジャンプと広域積雪の役割
- A153 沖 大幹・虫明功臣(東大・生産研), 江守正多(東大・教養), 沼口 敦(国立環境研): 大気-流域水収支および大気大循環モデルによる陸水貯留量季節変化の推定
- A154 江守正多(東大・教養), 沼口 敦・光本茂記(国立環境研): GCMにおける大気-陸面系水循環の流出プロセスに対する感度
- A155 岩崎俊樹・隈 健一(気象庁・数値予報), 中澤哲夫・柴田 彰(気研): 4次元データ同化システムで評価した全球水収支について その2 — SSM/Iデータによる可降水量の検証
- A156 高田久美子(東京電力), 野田 彰(気研・気候): 『1.5次元モデル』による永久凍土の気候感度実験(III)
- A157 高藪 出(気研・応用), K. Mitchell (NOAA), Y.-K. Xue (COLA): FIFE87データを用いたSSiBモデルのテストラン(NOA/NMCにおけるGEWEX/GCIP関連)
- A158 尾瀬昭昭(気研・気候): 局所的な積雪量偏差に対する大気の応答(2)
- A159 鬼頭昭雄(気研・気候): 大気変動に対する陸面状態と海面水温の影響比較

— 総合討論 —

大気力学II

座長:加藤輝之(気研・予報)

- B151 山根省三・余田成男(京大・理): 単純化した大気循環モデルにおける予測可能性の時間変動について
- B152 向川 均(北大・地球環境), 赤堀浩司(京大・理): 最適起擾乱のノルム依存性
- B153 伊賀啓太(東大・海洋研): 下層の渦位が一様である前線の不安定性
- B154 玉木克美・宇加治一雄(福岡大・理): オープン・シリンドラー型回転水槽で観測される傾圧波動(2)
- B155 田島俊彦・中村敏郎・黒田貴紀(富山高専): 定常傾圧波におけるラグランジュ運動の実験的観測(その1) — 渦の内部構造 — [V]
- B156 金 海東・木村龍治(東大・海洋研): 中規模細胞状対流の素過程とセルサイズ
- B157 野中善政(宮崎大・教育): Internal Solitary Waves Over low slope of Topography
- B158 檜尾守昭・大沢和裕(気象庁・予報): 重力流理論モデルの拡張(2)収束線に伴う降雨強度の推定
- B159 金久博忠(気研・予報): 重力流に伴う重力波

ポスター・セッション

5月15日 概要紹介: A会場にて15:40~16:20; 講演: A会場前で16:20~17:30

座長:小泉 耕(気研・予報)

- P101 菊地時夫(高知大・理): インターネット上の気象情報WWWサーバー構想
- P102 深堀正志・青木忠生・青木輝夫(気研・物理), 鈴木 睦(国立環境研), 森山 隆(宇宙開発事業団), 石田英之・渡辺 猛(東レリサーチ): メタン2_{レ3}帯内R(0), R(1), Q(1)及びP(1)吸収線の線強度と半値半幅の測定及びその温度依存性
- P103 青木忠生・深堀正志・青木輝夫(気研・物理): 2枚重ね狭帯域光学フィルターの取扱
- P104 水野 量・山本 哲(気研): 航空気象通報(METAR)による国内飛行場における過冷却霧の統計分布
- P105 林 政彦・松永捷司・岩坂泰信・渡辺征春・奥原靖彦(名大・STE研), 今井正人(トーテックス), 塚田 賢(東京日進ジャバラ): 風を用いた大気観測(2) — 高度750mまでの係留実験 —
- P106 栗田 進(気研・応用): ERS-1でみた島後方の海上風
- P107 岩波 越(防災科研・長岡), 真木雅之(防災科研), 東浦 将夫・佐藤 威(防災科研・新庄): 防災科学技術研究所の新レーダーシステム — 直交2偏波ドップラーレーダー —
- P108 柴垣佳明(大阪電通大), 山中大学(京大・超高層), 前川泰之(大阪電通大), 深尾昌一郎(京大・超高層): MUレーダーによる台風9314号の温帯低気圧化過程の観測
- P109 岡村博文・榊原 均(気研・台風): 台風9416号中心付近の降雨帯
- P110 井上豊志郎(気研・台風): MSUによる台風の観測
- P111 藤部文昭(気研・予報): 移動する台風の風速分布を表すモデル式について
- P112 石岡圭一・余田成男(京大・理): 順圧不安定による擾乱の発達の上限を求める数値的手法
- P113 中西幹郎(気象協会): 予報支援のための局地気象モデルの開発
- P114 斉藤和雄・加藤輝之(気研・予報): 非静水圧ネスティングモデルについて(6) — A Nonhydrostatic Universal model —

大会第1日〔5月15日〕 13:30~15:30

()は第2種講演を, ~は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

D会場

TOGA-COARE

座長:西 憲敬(京大・防災研)

- C151 米山邦夫(海洋科学技術センター), 林 美鶴(日本海洋事業), 黒田芳史(海洋科学技術センター): 西部赤道太平洋域での「かいよう」観測速報
- C152 植木 巖・榎田邦夫・稲葉栄生(東海大・海洋), 金子 新(広島大・工): TOGA/COARE IOPにおける西部熱帯太平洋上層海流にみられる2日周期変動
- C153 榎田邦夫・橋本友章・大津賢一郎・植木 巖(東海大・海洋): 西部熱帯太平洋における表層東向流ジェット
- C154 Md. N. Islam, H. Uyeda, K. Kikuchi(北大・理): Characteristics of Echo cells Observed by a Doppler Radar and Identification of Cloud Components by GMS-IR in Manus Island during the TOGA-COARE IOP
- C155 滝沢 巖・早坂忠裕・田中正之(東北大・理): SSM/Iデータをを用いた熱帯クラウドクラスターの構造の解明
- C156 生山朋来・竹内謙介(北大・低温研): レーダーによって推定された降水強度とGMST_{2m}の関係
- C157 中澤哲夫・柴田 彰(気研): TOGA-COARE期間中の季節内変動に伴う大規模対流活動と可降水量変動
- C158 坪本和久(東大・海洋研): TOGA-COARE集中観測期間に観測された赤道上のメソスケールのクラウドクラスターの西進と赤道渦擾乱について
- C159 清水 厚・津田敏隆(京大・超高層), N. Adikusumah(LAPAN): インドネシアにおいて観測された大気重力波のホドグラフ解析

放射

座長:菊地信行(東北大・理)

- D151 早坂忠裕・菊地信行(東北大・理), 塩原匡貴(気研・気候), 藤吉康志(名大・水圏研): 航空機観測における赤外放射フラックスの測定精度について
- D152 菊地信行・早坂忠裕・田中正之(東北大・理): 不均質な雲による太陽放射の反射の観測とシミュレーション
- D153 塩原匡貴・真野裕三・村上正隆(気研): 雲内部での放射フラックス測定について — JACCS航空機観測での実験結果 — [V]
- D154 高尾俊則・下道正則(高層気象台): 昭和基地で観測された紫外域日射 — 雪面反射による増幅とオゾンホールの影響 —
- D155 青木輝夫・青木忠生・深堀正志(気研・物理), 中尾正義・瀬古勝基(名大・水圏研): 積雪表面及び内部における短波長放射特性と積雪物理量の観測
- D156 増田一彦(気研・衛星): LOWTRAN7の水蒸気吸収バンドモデルの特徴
- D157 今須良一(資源環境研), 須賀淳雄(RITE), 松野太郎(北大・地球環境): 代替フロン物質の温室効果ポテンシャル(GWP)評価に関する研究: II
- D158 佐々木政幸・増田一彦(気研・衛星), 市川義文・井上万姫子(神戸商船大), 吉本誠義(航海訓練所): 西太平洋上のエロゾルの光学特性の観測(I)
- D159 柴田清隆・内野 修(気研), 神山武久(筑波大・環境): ピナツポ火山性エロゾルの成層圏に及ぼす放射効果の評価
- D160 日暮明子・中島映至(東大・気候システム): 大気-海洋系におけるリモートセンシングに関する考察

概要紹介は1件1分以内です。ポスターには表題と発表者名を明記して下さい。

ポスターは大会期間中(3日間)を通じて掲示できる見込みです。

- P115 加藤輝之(気研・予報): 湿潤対流調節を用いることによる擾乱の東進傾向について
- P116 西澤慶一(電力中研): 気候モデルのための非対流性凝結のパラメータ化(その1) — 部分雲量の診断スキーム —
- P117 一ノ瀬俊明(東大・先端研), 下堂園和宏(東大・工), 鶴野伊都志(国立環境研), 花木啓祐(東大・先端研): 細密地理情報にもとづく都市気候数値シミュレーション地表面境界条件の高精度化(第2報) — 省エネルギーによる都市の熱環境緩和効果の検討 —
- P118 神田 学・柳本記一(山梨大・工), 宇梶正明(熊谷組): 屋外における体感温度指標に関する検討(人工気象室における実験結果をもとに)
- P119 岩坂泰信・柴田 隆・足立 宏・林 政彦・長谷正博・中田 滉(名大・STE研), 藤原玄夫・白石浩一(福岡大・理), 近藤幸治(高層気象台), 中根英昭(国立環境研): アラスカにおける成層圏エアロゾルのライダー観測
- P120 大谷天志・小川利紘(東大・理), 中根英昭(国立環境研): 対流圏における流跡線解析の試み
- P121 S. Maksyutov(国立環境研): DIURNAL CYCLE OF TRACER TRANSPORT IN THE BOUNDARY LAYER OVER SIBERIAN FOREST AND WETLAND SITES: NUMERICAL SIMULATION
- P122 山中康裕(東大・気候システム), 田近英一(東大・理): 海洋生物化学大循環モデルによる炭素循環の研究(その4)
- P123 坂本雅巳・永田洋二・松尾敬世(気象庁・温暖化): 地上気温の長期的変動と年々の変動の特徴について
- P124 小出 寛・行本誠史・鬼頭昭雄・野田 彰(気研・気候): 気象研全球結合モデルと観測の大気海洋結合モード
- P125 D. R. C. Nair, 杉 正人(防災科研), 隈 健一(気象庁・数値予報): 二つの対流スキームを用いた気象庁全球モデルの熱帯降水の気候特性の比較
- P126 篠田雅人(都立大・理): 熱帯降水と海面温度の関係における地域性・季節性
- P127 田中 実(気研・台風): アジア・西太平洋上における夏季モンスーンの年々変動 — EL NINOとの関係(2) —
- P128 渡部雅浩・篠田雅人(都立大・理): インドモンスーンにおける30-60日振動の経年変動

大会第2日〔5月16日〕 09:00~12:00

()は第2種講演を, ~は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

気象予測・数値予報

座長: 隈 健一(気象庁・数値予報)

- A201 石井正好(気象庁・海洋): 正準相関分析による気温の季節平均の解析
- A202 石島 英(琉大・教養), 河辺照之(琉大・理): ファジィ推論による台風発生数の予測について
- A203 柳野 健(気象庁・予報), 高田伸一(気象庁・数値予報): ニューラルネットによる気象予測 第2報
- A204 小泉 耕・野口晋孝(気研・予報): 気象予報における経験的知識の機械学習による洗練 — 決定木のニューラルネットワーク化 —
- A205 野口晋孝・小泉 耕(気研・予報): 不連続線と収束域および強雨について
- A206 弟子丸卓也・大野木和敏(気象庁・数値予報): 航空機による自動観測データの領域モデルへの連続同化について
- A207 高野 功・瀬古 弘(気研・予報), 立平良三(電通大): ドップラーレーダーにより推定した風データの高分解能モデルへの適用(1報)
- A208 松村崇行(気象庁・数値予報), 田中ちえ(気象協会): GMS雲情報による降水量のJSMへのインパクト
- A209 笠原 彰(NCAR), 筒井純一・平口博丸(電力中研): 降水量推定値を用いた台風予報モデルの初期値化
- A210 大野木和敏(気象庁・数値予報), 上野 充(気研・台風): 気象庁客観解析における非対称台風ボーガス導入の進路予報への効果
- A211 釜堀弘隆(気研・台風): スペクトラム期間中の全球再解析(その2) — ノンリアルタイムデータの台風予報に対するインパクト —
- A212 斉藤和雄・上野 充(気研): 台風北偏バイアスの原因
- A213 上野 充・斉藤和雄(気研): 台風移動に対するコリオリ力鉛直成分の効果
- A214 隈 健一・萬納寺信崇(気象庁・数値予報): 次期全球予報モデルの概要(混濁対流編)
- A215 北川裕人・岩崎俊樹(気象庁・数値予報): 次期全球予報モデルの概要(放射編)
- A216 對馬洋子・中島映至(東大・気候システム), 沼口 敦(国立環境研): 気候モデルにおける有限雲の取り扱いについて
- A217 吉松和義・高野清治(気象庁・長期予報): 気象庁全球モデルによるアンサンブル1か月予報実験 — 夏 — その1 アンサンブル構成法の検討
- A218 小林ちあき・高野清治(気象庁・長期予報), 岩崎俊樹・北川裕人(気象庁・数値予報): 成層圏の解像度を上げた全球モデルによる1か月予報実験
- A219 小林博和(電力中研), 上原 靖(富士総研): Cubic Spline 内挿法を用いたSemi-Lagrangian Schemeの質量保存性

B会場

大気地表面相互作用

座長: 玉川一郎(名大・水圏研)

- B201 益子直文・佐藤信夫(気象庁・数値予報): 数値予報モデルにおいて地表面過程が大気に与えるインパクト
- B202 西村照幸(東大・気候システム), 佐藤信夫(気象庁・数値予報): 地表面モデルに影響する大気の境界条件について
- B203 神田 学(山梨大・工): メソモデルへの植生層導入効果に関する検討
- B204 渡辺 力(森林総研): 多層キャノピーを考慮した2次元局地循環モデル
- B205 仲江川敏之(東大・工), 沖 大幹・虫明功臣(東大・生産研): サブグリッドスケールの地表面の多様性を考慮した地表面熱収支について
- B206 菅原広史・近藤純正(東北大・理): 都市における地表面温度
- B207 石田祐宣・近藤純正(東北大・理): 微風時の顕熱の交換速度(2) — 室内実験と野外観測の比較 —
- B208 近藤純正・石田智美(東北大・理): 水田地帯における土壌パラメータの季節変化
- B209 近藤純正・徐 健青(東北大・理): 火山灰土壌からの蒸発 — 土壌パラメータの測定
- B210 安田延壽・高橋雅人・近藤純正(東北大・理): 有限微小水面からの蒸発に関する数値計算
- B211 山口智美(筑波大・環境), 鈴木力英・安成哲三(筑波大・地球): アジア大陸における降水量と植生指標
- B212 鈴木力英(筑波大・地球): ユーラシア大陸における植生インデックスと積雪
- B213 仲山智子・福田正己(北大・低温研): シベリア・ツンドラ湿地におけるメタン発生量の推定
- D215 永尾一平・松本 潔・田中 浩(名大・水圏研): 太平洋上でのCCNの起源に関する定点観測(その1)
- D216 伍 培明・岡田菊夫(気研・応用), 周 明煜(中国国家海洋局): 硝酸イオンを含む黄砂粒子について — その2
- D217 新村典子(筑波大・地球), 岡田菊夫(気研・応用), 甲斐憲次(筑波大・地球), 荒生公雄(長崎大・教育): 黄砂粒子の海塩成分について

大会第2日〔5月16日〕 09:00~12:00

()は第2種講演を, ~は講演者を表す。[S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

台風・積乱雲・シビアストーム

座長:高橋暢宏(通信総研)

- C201 立平良三・山崎拓哉(電通大), 瀬古 弘・島津好男(気研):単ドップラーレーダーによる台風周辺の上層風推定(VVP法の台風への適合)
- C202 林 泰一(京大・防災研):田辺中島高潮観測塔における海上風観測
- C203 山中大学(京大・超高層), 柴垣佳明(大阪電通大), 蒲田真理子(神戸大・理), 中北英一(京大・防災研), 佐藤 亨(京大・工), 深尾昌一郎(京大・超高層):MUレーダーで観測された台風9426号の「眼」の構造
- C204 青梨和正・柴田 彰(気研), 劉 国勝(Univ.Colorado):SSM/Iデータを用いた台風9019号の降水強度の推定
- C205 森 一正・島津好男・岡村博文・榊原 均(気研・台風), 中井専人(防災科研):台風域内のシビア現象を伴うメソ降水系群(序報)
- C206 岡村博文(気研・台風), つくば降雨グループ:台風9426号に伴う茨城県~福島県の大雨
- C207 高橋暢宏・花土 弘・佐藤健治・熊谷 博(通信総研), つくば降雨グループ:ドップラーレーダーを用いた夏季対流雲の解析(I)
- C208 耿 驥・藤吉康志・吉本直弘・金田幸恵・田中久理・武田喬男(名大・水圏研):マルチセル型積乱雲のデュアルドップラーレーダ観測
- C209 田平 誠(愛知教育大), 武田喬男・藤吉康志・耿 驥・吉本直弘(名大・水圏研):発達した雷雲からのインフラソニック波放射
- C210 高山 大・新野 宏(気研), 渡辺真二・菅谷重平(東京管区), つくば降雨グループ:埼玉県北西部で発生したダウンバースト—つくば域降雨観測実験'94年9月8日の事例—
- C211 大野久雄・楠 研一・鈴木 修(気研・衛星), 小倉義光(東大・海洋研):つきつぎと発生した, 小サイズで激しいマイクロバースト—水戸ダウンバースト1992年9月4日の微細構造—
- C212 横堀 誠(茨城県林業試験場):1992年12月8日・竜巻Dコースの延長上で新たに確認された被害[S]
- C213 小林文明(防大・地球), 千葉 修(高知大・理):1994年10月4日土佐湾海上で発生した竜巻—連続して発生した竜巻の形態—[SV]
- C214 鈴木 修・新野 宏・大野久雄・菲澤 浩(気研):1990年9月19日関東地方に発生したスーパーセルストームとその特徴

D会場

エアロゾル

座長:福山 力(国立環境研)

- D201 岡田菊夫・伍 培明・田中豊顕・佐々木 徹・内野 修・永井智広・藤本敏文・池上三和子・高橋俊二・財前祐二・塩原匡貴(気研), 松原広司・大胡田輝信・阿部豊雄・須田 智・宮川幸治(高層気象台), 堀田 貢(大誠産業):ゴム気球による成層圏エアロゾル粒子の直接採集(第2報)
- D202 秋吉英治(国立環境研), 内野 修(気研・衛星):硫酸エアロゾルの増加による成層圏微量成分と気温の変化
- D203 岩坂泰信・林 政彦・渡辺征春・柴田 隆・長田和雄・足立 宏(名大・STE研), 藤原玄夫(福岡大・理):北極圏成層圏における脱空過程 1994-95冬期のOPCゾンデによる観測
- D204 岩坂泰信・柴田 隆・足立 宏(名大・STE研), 藤原玄夫・白石浩一(福岡大・理), 宮川幸治(高層気象台), 中根英昭(国立環境研), 小塩哲朗(名大・STE研):アラスカでの成層圏エアロゾルのライダー観測:極渦の蛇行の影響
- D205 柴田 隆・足立 宏・酒井 哲・長谷正博・林 政彦・長田和雄・渡辺征春・岩坂泰信(名大・STE研), 進 和美・小倉義信・藤原玄夫(福岡大・理):北極エアロゾルライダー観測 スピッツベルゲン, 1994-1995冬季
- D206 永井智広・内野 修・藤本敏文(気研・衛星), 板部敏和・水谷耕平(通信総研), 柴田 隆(名大・STE研):カナダ北極圏ユーレカにおけるPSCのライダー観測
- D207 高村民雄(防大・地球), 浅野正二(気研・気候), 三宅昌人(防大・地球):エアロゾルの経年変動—ピナツポ噴火その後の傾向(1992-1993)—
- D208 長澤親生・阿保 真(都立大・工):ライダーにより観測された成層圏の狭いエアロゾル層
- D209 神山武久(筑波大・環境), 内野 修・永井智広・藤本敏文(気研・衛星), 長澤親生・阿保 真(都立大・工), 浅井和弘(東北工大), 板部敏和・水谷耕平(通信総研), 岩坂泰信・柴田 隆(名大・STE研), 藤原玄夫(福岡大・理), 甲斐憲次(筑波大・地球), 二階堂義信(気研・気候):ライダーで観測した1994年2月のピナツポ火山エアロゾルの輸送過程について
- D210 権 成顔・岩坂泰信・柴田 隆・小塩哲朗・酒井 哲・足立 宏(名大・STE研), 藤原玄夫(福岡大・理), 中根英昭(国立環境研):ライダーで観測された対流圏エアロゾルの輸送経路の特性
- D211 松岡静樹・菊地勝弘・上田 博・遊馬芳雄(北大・理):冬季日本海海岸で観測されたエアロゾル数濃度の変動
- D212 三浦和彦・岩淵 淳・沢 正之・中江 茂(東京理大・理):海塩粒子の蒸発析出後の分裂について
- D213 財前祐二・池上三和子・堤 之智・牧野行雄・岡田菊夫(気研), J. Jensen, J. Gras (CSIRO):航空機による西太平洋域のエアロゾル粒径分布の測定(その2)
- D214 池上三和子・岡田菊夫・財前祐二・堤 之智・牧野行雄(気研):熱帯域の下層雲内・外で採集された海塩粒子(PACE-1, サイパン鉛直分布観測)

A会場

B会場

熱帯大気

座長：山崎信雄（気研・台風）

- A301 I. Widiyatmi, H. Hashiguchi, M. D. Yamanaka, S. Fukao, T. Tsuda (京大・超高層), Sri Woro B. H. (BPPT), H. Wiryo-sumarto (LAPAN) : Quasi 4 Day Mode Observed by the Boundary Layer Radar at Serpong (6°S, 107°E), Indonesia: Part 2
- A302 堀之内 武・余田成男(京大・理) : 熱帯での加熱により励起された波動の中層大気への伝播
- A303 丸山健人(気研・予報) : 短周期フェーズに移行したQBO
- A304 久保田尚之・新田 勲(東大・気候システム) : 熱帯対流活動の日変化
- A305 山田真吾(気象庁・予報) : 北西太平洋における海面水温と台風強度の関係について
- A306 浜田純一・山中学・橋口浩之・深尾昌一郎(京大・超高層), A. Sudibyo (LAPAN) : 赤道域の降水量変動のフラクタル解析
- A307 宮崎保彦・遠藤 剛(気象衛星センター) : Upper Level Cold Lowと熱帯擾乱の発生
- A308 山崎信雄(気研・台風) : 位置エネルギーフラックスと熱帯-中緯度の相互作用

年々変動

座長：佐藤康雄（気研・応用）

- A309 藤部文昭(気研・予報) : 1994年猛暑の境界層内における特徴—「都市化が猛暑の1要因」かどうかの検討—
- A310 佐々木秀孝・千葉 長・小出 孝(気研) : 局地気候モデルによる'93・'94年の8月の気候のシミュレーション
- A311 藤川典久・前田修平・林 久美(気象庁・長期予報) : 日本付近の亜熱帯高気圧の渦度収支(1994年夏)
- A312 石澤 司・三上岳彦(都立大・理) : 東アジアにおける梅雨季の前線帯の経年変動—第2報—
- A313 松本 淳(東大・理) : バングラデシュにおける大洪水時の降水量分布—1987・88年のケーススタディー—
- A314 板野裕久・竹見哲也・光田 寧(京大・防災研) : 中国北西部砂漠での降雨特性
- A315 磯部英彦(気象庁・長期予報) : 熱帯の海面水温分布と下層風, 対流活動の関係について
- A316 李 越豪・安成哲三(筑波大・地球) : OLR(赤外長波放射量)で見た広域アジアモンスーンの季節変化と経年変動
- A317 冨田智彦・安成哲三(筑波大・地球) : 北半球対流圏の気圧場の2年周期変動成分について
- A318 西森基貴・安成哲三(筑波大・地球) : 北半球における気候システムの長期的変動と日本の夏季気温の変動との関連
- A319 Sanga-N. K., 山口理恵子・福山 薫(三重大) : アフリカザイール川流域における過去30年間の気候変動3. 気温の永年変化
- A320 山本晴彦・早川誠而(山口大・農), 鈴木義則(九州大・農), 多良利江子(山口大・農) : 水稲収量に及ぼす気象要因の影響評価

中高緯度大気

座長：二階堂義信（気研・気候）

- B301 青木博松・塩谷雅人・廣田 勇(京大・理) : 南半球対流圏循環の年々変動
- B302 早崎将光・田中 博(筑波大・地球) : 冬季アラスカにおける対流圏突然昇温の研究
- B303 小寺邦彦・千葉 長(気研・気候) : 成層圏突然昇温に伴う対流圏循環の変化
- B304 前田修平(気象庁・長期予報) : ブロッキングの持続と順圧不安定
- B305 青木亮太・力石國男(弘前大・理) : ヤマセの強さとブロッキングの大きさ
- B306 三浦正徳・田中 博・安成哲三(筑波大・地球) : 南半球対流圏循環場における季節内振動の研究
- B307 寺尾 徹(京大・防災研) : 夏季北半球中緯度における20-30日周期変動について
- B308 佐藤 薫(東大・気候システム) : ECMWP客観解析データを用いた中間規模波動の解析(序報)
- B309 山森美穂(京大・理), 佐藤 薫(東大・気候システム), 廣田 勇(京大・理) : 上部対流圏中間規模波動の季節変化
- B310 廣田 勇・山田和孝(京大・理), 佐藤 薫(東大・気候システム) : 冬季北大西洋域における中間規模東進波
- B311 遠藤辰雄(北大・低温研), 遊馬芳雄(北大・理), 児玉祐二(北大・低温研), 坪木和久・木村龍治(東大・海洋研) : カナダ北極圏における寒気形成機構に関する調査(その2) 航空用ビーコン塔を利用した観測
- B312 松川芳樹・遊馬芳雄・菊地勝弘(北大・理), 木村龍治・坪木和久(東大・海洋研) : カナダ北極圏における寒気形成及び流出
- B313 菊池 正・鈴木和史(気象庁・予報) : 日本の東海上で急発達する低気圧: 発達期の特徴
- B314 隈部良司・岸本賢司・桜井利幸(気象衛星センター) : 衛星画像を用いた低気圧の中心気圧の見積り

大会第3日〔5月17日〕 09:00~12:30

C会場

- 測器・観測手法 座長：高山陽三(気研・衛星)
- C301 村山利幸・古嶋正隆・織田彩人・岩坂直人(東京商船大), 甲斐憲次(筑波大・地球): ライダーによる大気境界層エーロゾルの偏光特性
- C302 中島 孝(宇宙開発事業団), 内野 修(気研・衛星), 森山 隆(宇宙開発事業団), 永井智広・藤本敏文(気研・衛星): 衛星搭載LIDARの感度シミュレーション
- C303 柴田 隆・酒井 哲・権 成顔・小塩哲朗・足立 宏・岩坂泰信(名大・STE研): ラマンライダーを用いた大気観測 — 大気温度の測定 —
- C304 井上 元・S. マクシュートフ(国立環境研), E. カディグロフ(CAO): 走査型ミリ波放射計を用いた温度の遠隔測定
- C305 安藤泰弘・高村民雄(防大・地球), 風間茂穂(総合電子): マイクロ波放射計による可降水量の観測(2) — サイドロープの影響 —
- C306 江湖直人(東北大・理): ERS-1散乱計によって観測された1991-92年ENSOに伴う冬季北太平洋の海上風速場の変動
- C307 高山陽三(気研・衛星): CバンドSARの水面後方散乱の水温の影響[S]
- C308 川村 宏(東北大・理): ERS1マイクロ波散乱計による'93年ヤマセの海上風場とヤマセ雲の移流
- C309 川合義美・川村 宏(東北大・理): 日本周辺海域における衛星観測海面水温の特性に関する研究(I)
- C310 Dubovik, O. (国立環境研), T. Nakajima(東大・気候システム), T. Yokota, Y. Sasano(国立環境研): Development of global inversion algorithm for ADEOS/ILAS radiometer
- C311 下田昭郎・小林博和・門倉真二(電力中研): 航空機観測データを用いたIMGデータ解析アルゴリズムの検証
- C312 堤 之智(気研・物理): 紫外吸光法を用いた高速応答位相差循環型オゾン計の開発
- C313 紐 建国・竹内延夫(千葉大・映像): 大気微量成分に対する分光光度計の設計
- C314 中村健治・民田晴也(名大・水圏研): 航空機による風の測定について
- C315 花房龍男・佐藤純次・坂井武久(気研), 竹内清秀・鈴木富則(原安協), 伊藤芳樹(カイジョー), 永沼 剛・小玉亮(気象協会): ドップラーソナーによる風観測について
- C316 山本喜昭・津田敏隆・足立樹泰(京大・超高層): MUレーダー/RASS観測による大気重力波の周波数スペクトル解析
- C317 大野裕一(通信総研), Yuttapong R.(キングモンクット王工大): ウィンドプロファイラのクラッタ除去アルゴリズム
- C318 沖 理子(リモート・センシング技術センター), 住 明正(東大・気候システム): しきい値法による月降水量推定精度の検討

D会場

- 大気境界層I 座長：吉門 洋(資源環境研)
- D301 鱧谷 憲・山本秀明・文字信貴(大阪府大), 宮田 明(農環技研): 小型係留気球による大気微量気体フラックスの測定
- D302 川島茂人(国際農研センター), 高橋裕一(山形県衛生研): 空中花粉捕集量の画像処理計測 — スギ花粉の拡散過程に関する研究 — [S]
- D303 脇山勤治(筑波大・自然), 甲斐憲次(筑波大・地球): 筑波大学水理実験センターにおける地温のスペクトル特性
- D304 糸賀勝美(筑波大・自然), 甲斐憲次(筑波大・地球): 環八雲の発生条件に関する気候学的研究
- D305 甲斐憲次(筑波大・地球), 日置江 桂(筑波大・環境), 太田 稔(筑波大・自然), 阿保 真・長澤親生(都立大・工), 村山利幸(東京商船大), 永井智広・内野 修(気研・衛星): 1994年8月, 東京都世田谷区上空で観測された積雲列(環八雲)について
- D306 木村富士男(筑波大・地球): 局地循環による可降水量の日変化
- D307 山本 哲・里村雄彦(気研・応用): 海洋上混合層の数値シミュレーション — 海洋性寒帯気団を想定した実験 —
- D308 薄生 稔・林 正康(資源環境研), W. Limpaseni, P. Suwattiga(Chulalongkorn大): 熱帯域の大気境界層について
- D309 藤野 毅(埼玉大・工), 和氣亜紀夫(清水建設), 浅枝 隆(埼玉大・工): 砂漠緑化による気候緩和効果の検討 — その1 —
- D310 Sha W., K. Nakabayasi(名工大), H. Ueda(九大・応力研): A Numerical Study on Flow pass a Three-dimensional Obstacle in a Strong Stratified Layer
- 座長：桑形恒男(東北農試)
- D311 杉原裕司・松永信博(九大・総理工), 増田 章(九大・応力研): 平均流のない乱流場における標準型k-εモデルの有効性
- D312 持田 灯・村上周三・金 相暎(東大・生産研): 乱流モデルによる関東地方の流れ場, 温度場の数値解析 緑被率の変化の影響に関する検討
- D313 木内 豪・小林裕明(土木研): 公園内の水辺・緑陰の微気象と熱環境について
- D314 兼保直樹・山本 晋・吉門 洋・近藤裕昭(資源環境研), 村山利幸(東京商船大): 大都市域における初冬季の高濃度大気汚染が都市気象に与える影響
- D315 吉門 洋・山本 晋・近藤裕昭(資源環境研), 鈴木基雄・守屋 岳・林 宏典(気象協会): 関東地方の冬季光化学シミュレーションのための境界層の構造解析
- D316 近藤裕昭・山本 晋・吉門 洋・兼保直樹・水野建樹(資源環境研), 鈴木基雄・守屋 岳・林 宏典(気象協会): 関東地方の冬季光化学反応によるNO₂大気汚染のシミュレーション
- D317 Oh E.-J., H.-W. Lee, Y.-K. Kim (Pusan Natl. Univ.), K. Yamaguchi, A. Kondo (大阪大・工): Modeling of Atmospheric Flow and Dispersion in Pusan Area, Korea
- D318 Jang E.S., Lee H.W. (Pusan Natl. Univ.), H. Ueda (九大・応力研): Eulerian Model of Flow and Dispersion/Chemistry/Deposition Processes — Photochemical Reactions and Dry Deposition in the Mountainous Coastal Area —

A会場

- 気候システム 座長：野田 彰（気研・気候）
- A351 牧田広道（気象庁・高層）：カスピ海の水位変動について[S]
- A352 安成哲三（筑波大・地球），水戸哲司（筑波大・環境）：北半球における対流圏気温の変動 — 過去30年間におけるトレンドと10年スケールの変動 —
- A353 可知美佐子・新田 勅・谷本陽一（東大・気候システム）：大気-海洋の年々〜十年規模変動
- A354 沈 学順・木本昌秀（東大・気候システム），沼口 敦（国立環境研）：CCSR/NIES大気大循環モデルの観測されたSSTに対するレスポンス
- A355 杉 正人・川村隆一（防災科研），佐藤信夫（気象庁・数値予報）：気象庁全球モデルを用いたアンサンブル気候実験(2)
- A356 水野孝則（気象庁・IMC）：1994/95エルニーニョについて
- A357 松浦知徳・下川信也（防災科研）：エルニーニョ現象に出現する非線形共振応答
- A358 吉川郁夫（気象庁・数値予報），石井正好（気象庁・海洋），木本昌秀（東大・気候システム），千葉 長・黒田友二（気研・気候）：空海JMA:気象庁大気海洋結合モデル(序) — 30年積分 —
- A359 木本昌秀・沈 学順（東大・気候システム）：空海CCSR:大気-表層海洋結合モデル(序) — 40年積分における気候値，季節サイクル，年々変動 —
- A360 行本誠史・遠藤昌宏・北村佳照・鬼頭昭雄・本井達夫・野田 彰（気研），時岡達志（気象庁・気候変動）：大気海洋結合モデルにあらわれた太平洋域における数年〜数十年スケールの変動（第2報）
- A361 山崎孝治（北大・地球環境），E. A. Jadin (CAO)：地球回転と大気角運動量の年内及び10年スケールの変動
- A362 内藤勉夫（国立天文台），横山由紀子（能開大），菊地直吉（国立天文台）：磁場，自転速度，気候の数十年変動
- A363 澤 庸介・坂本雅巳・斎藤三行・松尾敬世（気象庁・温暖化）：都市化が地上気温，相対湿度に与える影響
- A364 日下博幸（筑波大・環境），西森基貴・安成哲三（筑波大・地球）：日本における最高・最低気温偏差の季節性と都市気候成分の検出
- A365 水瀬正雄（長岡市）：日本の気象官署における大気圏上端部の理論太陽輻射量と気温の日別平滑年値の関係について
- A366 岩嶋樹也（名大・人間情報），山元龍三郎・奥田昌弘（気象協会・関西）：降水量の長期変動に関する解析(IV) — 1時間降水量の解析 その2 —
- A367 高田久美子・阿部彩子・木本昌秀（東大・気候システム），沼口 敦（国立環境研），住 明正（東大・気候システム）：CCSR/NIES大気-海洋混合層結合モデルによるCO₂増倍実験
- A368 野田 彰・本井達夫・行本誠史・中川慎治（気研・気候），時岡達志（気象庁・気候変動）：CO₂漸増実験/MRI-GCMにおけるオホーツク海の温暖化について
- A369 小出 寛・鬼頭昭雄（気研・気候）：15層大気大循環モデルによる気候最適期の感度実験

B会場

- 中層大気・重力波 座長：向川 均（北大・地球環境）
- B351 山本峰生・田平 誠（愛知教育大），福山 薫（三重大・教育），塩川和夫（名大・STE研）：高感度単色全天カメラ(HIMAT)を用いて観測された中緯度熱圏下部の2次元構造
- B352 堤 雅基・津田敏隆・中村卓司・深尾昌一郎（京大・超高層）：流星エコーを利用した風速・温度変動同時観測による中間圏界面領域の大気潮汐波の解析
- B353 村山泰啓・五十嵐喜良（通信総研），西牟田一三（通信総研・山川）：通信総研山川MFレーダーによる中層大気波動の観測
- B354 下舞豊志・山中大学・深尾昌一郎（京大・超高層）：臨界高度近傍の重力波のウェーブレット解析
- B355 西 憲敏（京大・防災研）：対流圏上部から成層圏下部での赤道域大規模擾乱の形態
- B356 荻野慎也・山中大学・深尾昌一郎（京大・超高層）：下部成層圏領域の重力波・Kelvin波の緯度変化 — J-COARE白鳳丸オメガゾンデデータの鉛直波数スペクトル解析(2) —
- B357 川端宏司・山中大学・橋口浩之・山本 衛・深尾昌一郎（京大・超高層），佐藤 亨（京大・工），真野裕三・村上正隆（気研）：MUレーダー・航空機共同実験による対流圏内部重力波の観測
- B358 里村雄彦（気研・応用）：三次元的な山岳波による運動量輸送について — 線形論によるPYREXの解釈 —
- B359 酒井 敏（京大・総合人間），塩谷雅人・余田成男（京大・理），乙部直人，QB0グループ：QB0の室内実験[V]
- オゾン 座長：川上修司（名大・STE研）
- B360 廣岡俊彦・石川了子・山口勝也（九大・理）：南極域オゾンホール周辺の周辺構造の年々変動
- B361 鮎川江里香・廣岡俊彦（九大・理）：オゾンの年々変動とその学術場との関係(II)
- B362 栢原孝浩・鮎川江里香・廣岡俊彦・宮原三郎（九大・理）：大気大循環モデルを用いた南極オゾンホールのシミュレーション
- B363 藤原正智・北 和之・小川利紘（東大・理），N. Komala, S. Saraspriya (LAPAN), 前里 卓（宇宙開発事業団）：インドネシアにおけるオゾン全量観測
- B364 北 和之・藤原正智・小川利紘（東大・理），N. Komala, S. Saraspriya (LAPAN), 前里 卓（宇宙開発事業団）：インドネシアにおけるオゾンゾンデ観測
- B365 竹内延夫・斎藤千恵・浦野庸子（千葉大・映像），徳野正己（気象衛星センター）：台風に伴う核状オゾン分布と衛星観測による雲画像との比較
- B366 杉田孝史・近藤 豊・小池 真・中島英彰（名大・STE研），P. Amedieu (CNRS), U. Schmidt (KFA)：SESAMEにおける成層圏NO₂, O₃, N₂Oの相関関係 — 気球観測結果から —
- B367 箕浦宏明・美澤史帆（豊田中央研）：地上付近のオゾン濃度観測(III)
- B368 川上修司・近藤 豊・小池 真・中島英彰（名大・STE研）：太平洋上における窒素酸化物の航空機観測 — その2 (PEM-West B)
- B369 渡辺幸一・石坂 隆・田中 浩・柴原徹也・濱島俊輔（名大・水圏研）：乗鞍岳山頂における気体成分(O₃, SO₂, NO_x, 過酸化)濃度の測定

大会第3日〔5月17日〕 13:30~17:00

C会場

D会場

- メソ降水系 座長：栗原和夫（気研・予報）
- C351 山田広幸・上田 博・遊馬芳雄・菊地勝弘（北大・理），
真木雅之（防災科研），岩波 越（防災科研・長岡），佐藤 威・東浦将夫（防災科研・新庄）：石狩湾周辺における雪雲の発達過程の観測 — 1995年1月28日の事例 —
- C352 長石唯人・菊地勝弘・遊馬芳雄・上田 博（北大・理），
金村直俊（札幌総合情報センター）：札幌市周辺の異常降雪現象の検出
- C353 宮腰紀之・中村 一（気大）：北海道西岸に発生する帯状雲に関する数値実験
- C354 渡辺 明（福島大・教育）：Longitudinal Cloudの構造について
- C355 菊地勝弘・遊馬芳雄・上田 博・岩田総司・島村泰介（北大・理），木村龍治・坪木和久（東大・海洋研），D. R. Hudak, R. E. Stewart (AES), G. W. K. Moore (Univ. Toronto), E. T. Hudson (AES)：カナダ北極圏で行われたBASE (Beaufort and Arctic Storms Experiment) プロジェクト
- C356 岩田総司・遊馬芳雄・島村泰介・菊地勝弘・上田 博（北大・理），木村龍治・坪木和久（東大・海洋研）：BASE期間中に観測された強いシアを伴う極域擾乱システムの構造
- C357 島村泰介・遊馬芳雄・岩田総司・菊地勝弘・上田 博（北大・理），木村龍治・坪木和久（東大・海洋研）：BASE期間中に観測された渦状擾乱を伴う筋状エコーの構造
- C358 牛山素行（岐阜大・連合農），北澤秋司（信州大・農）：地域スケール別に見た降雨災害の変遷
- C359 荒生公雄・江山孝則・進藤康彦（長崎大・教育），藤吉康志・武田喬男（名大・水圏研）：雲仙・普賢岳周辺における1994年の降雨の特徴
- C360 大西英記・直江寛明（大阪管区）：寒冷前線による大阪（伊丹）空港付近で発生した集中豪雨（1994年9月6~7日）
- C361 武田喬男・竹内紀江（名大・水圏研）：中国淮河流域およびその周辺の1991年大雨時の雲分布の解析
- C362 土本順久・柴垣佳明（大阪電通大），橋口浩之，Tan T. K., 山中大（京大・超高層），前川泰之（大阪電通大），深尾昌一郎（京大・超高層）：MUレーダー・境界層レーダー同時観測による低気圧・前線に伴う対流圏最下部の風速変動
- C363 柴垣佳明（大阪電通大），山中大（京大・超高層），前川泰之（大阪電通大），深尾昌一郎（京大・超高層）：MUレーダー観測による1994年梅雨季の中小規模擾乱：前線構造の時間的発達過程
- C364 栗原和夫・瀬古 弘（気研・予報），つくば降雨グループ：「つくば域降雨観測実験」で観測された前線（1994. 5. 11）における氷粒子の融解の影響
- C365 瀬古 弘・高野 功・高山 大・吉崎正憲・大野久雄・楠 研一（気研），立平良三（電通大），つくば降雨グループ：「つくば域降雨観測実験」で観測された南岸低気圧（1994. 2. 12）のメソ構造 — 簡略化VPP法を用いた風の三次元分布 —
- C366 村田行泰・伊東由紀・立平良三（電通大）：単一ドップラーレーダーによる水平発散の推定
- C367 中井専人（防災科研），赤枝健治・楠原 均（気研・台風）：宮古島の梅雨期にみられた組織化した対流性降水による風系の変化

- 大気境界層Ⅱ 座長：甲斐憲次（筑波大・地球）
- D351 森 征洋（香川大・教育）：海陸風と気圧場との関係について — 瀬戸内海地方中央部の場合 —
- D352 千葉 修（高知大・理），内藤玄一・小林文明（防大・地球），佐々浩司（高知大・理），都築信明・落合 健・柴村孝嗣（防大・地球）：ヘリコプター観測による海風後部の構造について(2)[S]
- D353 山崎育正・千葉 修・佐々浩司（高知大・理）：海風ヘッド前面での流れの特徴
- D354 都築信明・小林文明・内藤玄一（防大・地球）：夏季における三浦半島周辺の海風の鉛直構造 — ドップラーソーダを用いた観測 —
- D355 落合 健・内藤玄一（防大・地球），佐々木保徳・中村 亘・畠山 清（海洋科学技術センター），小山 登（国際気象海洋），緒方俊介（東海大・海洋）：北極チュクチ海海域における大気境界層の観測的研究
- D356 手嶋準一・小林哲夫（九大・農）：青森高原可西里地域における境界層過程の観測
- D357 塚本 修（岡山大・理），佐橋 謙（岡山大・教育），石川裕彦（京大・防災研）：砂漠での水蒸気プロファイルとフラックスについて(1) 2 高度での水蒸気フラックス測定とプロフィール
- D358 永井秀幸（九大・農），佐橋 謙（岡山大・教育），小林哲夫（九大・農）：砂漠における水蒸気プロファイルとフラックスについて(2)
- D359 佐橋 謙（岡山大・教育）：HEIFE領域に吹いている風
- D360 真木太一（農業研究センター），潘 伯榮（新疆生物土壤沙漠研），杜 明遠・鮫島良次（国際農研センター）：中国新疆の乾燥地における風向・風速と砂丘移動状況
- 座長：藤谷徳之助（気研・応用）
- D361 橋口浩之・山中大（京大・超高層），I. Widiyatni, 津田敏隆・深尾昌一郎（京大・超高層），Sri Woro B. H. (BPPT), H. Wiryosumarto (LAPAN)：境界層レーダー観測による赤道域大気境界層の風速変動スペクトル
- D362 上松 啓・山中大（京大・超高層），橋口浩之（京大・超高層），坂本光輝（京大・人間環境），深尾昌一郎（京大・超高層）：境界層レーダー観測結果の数値シミュレーション
- D363 藤谷徳之助（気研・応用）：COARE-IOPにおける乱流フラックスの直接測定
- D364 木下直幸（気研・物理）：Wavelet解析で見た乱流渦の微細構造
- D365 大屋裕二（九大・応力研）：安定境界層の風洞シミュレーションとその乱流特性
- D366 加藤真規子（気研・物理），堀 晃浩（気象協会）：表面粗度が滑から粗へ変化する場合の拡散（その2） — 安定度が不安定時の気流（風洞実験） —
- D367 加藤真規子・花房龍男（気研），伊藤芳樹・副島潤一郎（カイジョー），堀 晃浩（気象協会）：都市上空の風のスペクトル — 野外観測と風洞実験の比較 —
- D368 能登美之（気象庁・統計）：風観測の地形効果と代表性
- D369 桑形恒男（東北農試）：山岳および平地における気象要素の日変化の比較 — 1994年，岩手山気象観測 —
- D370 山澤弘実・永井晴康・茅野政道（原子力研）：松林内での拡散実験(3) — 松林内のEuler的乱流 —
- D371 永井晴康・山澤弘実・茅野政道（原子力研）：松林内での拡散実験(4) — Lagrange的時間スケール —